

労働市場の概要（平成22年5月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

5月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同率の0.64倍となった。(原数値比較では前月より0.01ポイント低下した。)

これを求人・求職の内訳でみると、前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が0.8%増加し、有効求職者数(季節調整値)も0.4%増加した。

5月の新規求人数は、前年同月と比較(原数値)すると、主な産業では、大幅に減少した前年との比較等から、製造業(61.4%増)、情報通信業(144.1%増)、運輸業・郵便業(11.2%増)、学術研究・専門技術サービス業(80.8%増)、宿泊業・飲食サービス業(26.7%増)、医療・福祉(11.1%増)、サービス業(他に分類されないもの)(7.0%増)の産業で増加している。一方、建設業(26.2%減)、卸売・小売業(13.4%減)では減少している。全体では対前年同月比12.1%増と平成19年10月以来2年6ヶ月ぶりに増加に転じた前月に続き、2ヶ月連続で増加した。

新規求職は、前年同月比で8.4%増と6ヶ月ぶりに増加した。

この結果、有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同率となり依然低水準で県内の雇用情勢は厳しい状況が続いている。

1 有効求人倍率(季節調整値)

5月の有効求人倍率は、前月と同率の0.64倍となった。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1)有効求人(パートを含む)

○ 5月の有効求人は25,130人で、対前年同月比(原数値比較)で3.8%増加し、対前月比(季節調整値比)でも0.8%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で31ヶ月ぶりに増加に転じた。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 5月の有効求職は44,247人で、対前年同月比(原数値比較)で5.5%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.4%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で4ヶ月連続での減少となった。

(3) 5月の正社員の有効求人倍率は0.37倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

5月の新規求人倍率は1.01倍となり、前月より0.04ポイント低下した。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 5月の新規求人は9,687人で、対前年同月比(原数値比較)で12.1%増加し、対前月比(季節調整値比較)では0.05%減少となった。

○ 対前年同月比(原数値比較)では2ヶ月連続での増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

▲建設業	26.2%の減少	学術・専門技術サービス	80.8%の増加
製造業	61.4%の増加	宿泊・飲食サービス業	26.7%の増加
情報通信業	144.1%の増加	生活関連サービス業・娯楽業	4.4%の増加
運輸業・郵便業	11.2%の増加	教育・学習支援業	30.0%の増加
▲卸売・小売業	13.4%の減少	医療・福祉	11.1%の増加
金融・保険業	1.8%の増加	サービス業	7.0%の増加
不動産業・物品貸貸業	8.9%の増加	▲公務、その他	32.6%の減少

(2)新規求職(パートを含む)

○ 5月の新規求職は10,384人で、対前年同月比(原数値比較)で8.4%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも、4.0%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は6ヶ月ぶりに増加した。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は526,515人で、対前年同月比1.8%の増加となり、5ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、10,331人で対前年同月比は34.7%減少し、受給率は1.9%で前月より0.1ポイント低下した。